

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時 令和6年10月7日（月） 18時25分～19時25分

場 所 碧南市役所 談話室3

出席者	申込団体	不登校 ひきこもりの方 障がいのある方と共に歩む こんぱす	人数	10人
	碧南市	小池市長、福祉課長		

テーマ ひきこもり・不登校の方への施策について

(概要) 碧南市での現取り組みについて聞き、今後の対策等、協力できることなどについて話し合いたい。

要旨

ひきこもりの方やその周囲の方たちについて、学校生活以外の事での取り組みについて意見交換を行い、今後の施策をどのようにすべきかを考える機会とした。

主な意見は以下のとおり。

(不登校 ひきこもりの方 障がいのある方と共に歩む こんぱす)

- ・市で相談を受けているが、市職員では専門的な相談ができない部分がある。
- ・窓口がはっきりしていないので、ニーズを把握し、つなげることができる窓口が必要。
- ・当事者への対応について、SNSを活用して広げることがよい。相談しやすい環境づくりを考えてみてはどうか。
- ・若者が気軽に集まり、相談できる環境、居場所づくりが大切。
- ・働ける環境も必要と思うが、親が子どもに働きたい気持ちにさせることが難しい。
- ・ひきこもりについて、もっとたくさんの人に知ってもらいたい。
- ・ひきこもりになる前の子育て世代に知っていただくため、親御さん向けの講習会を実施すると効果的では。
- ・親の言葉、少しずつの声掛けが一步を踏み出す結果となるので、親も一步踏み出す勇気を持つべき。

(市長総括)

- ・子ども時代から育ってきた環境が大切である。
- ・ひきこもりを経験した方だからこそ、できることがあるので、皆さんの行動で、ぜひアプローチしていただきたい。

(対話の様子)

- ・参加者それぞれの視点での思いや現状について、意見交換が行われた。
- ・気軽に相談する場所、居場所づくりが大切であるという内容が多かった。